

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成20年10月

(平成20年9月末調査)

平成20年10月14日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【8月】	諏訪公共職業安定所管内 ※1	1.24 倍	△0.30 ポイント	
手形交換高【9月】※2 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	12,307 枚	+3,518 枚	
	金 額	16,869 百万円	+6,890 百万円	
	うち	枚 数	9 枚	△1 枚
	不渡り発生状況	金 額	5,011 千円	+43 千円
自動車販売【9月】 (諏訪地方合計)	車庫証明取扱件数 (普通車)	1,195 件	+5.1 %	
	軽自動車販売台数	402 台	△11.1 %	
新設住宅着工件数【20年4月～8月】(諏訪管内)		703 戸	△0.8 %	

※1：平成20年4月分より諏訪公共職業安定所岡谷出張所（旧岡谷公共職業安定所）を含めた数値となりました。

※2：8月末日が休日であるためその決済分が9月の手形交換高に含まれているため、大きく増加しています。

地域の概況

●製造業

自動車部品の下請企業の受注は、大手部品メーカーの生産調整を受け減少しており、比較的堅調であった小型車向け部品の弱含みもみられる。工作機械・専用機は、設備投資意欲の減退から受注は減少しており、成約の先延ばしがきかれる。金型関係は企業により区々であるが新規受注は弱含みの状況であり、デジタルカメラ関連企業の下請企業の受注は親会社により横這いと減少が区々となっている。

サブプライム住宅ローン問題に端を発した米国の金融不安が、大手証券会社の破綻にまで及んだことから世界で同時株安となり、円高も進行している。このような中、諏訪地域の中小製造業者の受注は、大手企業の減産や中堅企業の内製化の動きから減少しており、業況はさらに減速感が強まっている。

また、北米等のクリスマス商戦の動きは弱いものと予想され、その結果を受け来年にはさらに悪化するとの見方が多いなど不透明感が強くなっている。

●商業

諏訪地方の9月の天候は、秋雨前線の活動が弱く少雨となり、気温は中旬まで平年より高く推移していたが下旬には寒気の南下により平年より低くなった。

ガソリン価格は9月に入ると幾分低下したものの依然として高値圏で推移しており、食の安全問題やアメリカの金融不安の悪影響もあり消費マインドは低下している。

衣料は、朝晩の寒さから秋物衣料に動きがみられたとする店舗もあるが全般には低調であり、食料品は売り場で商品を吟味し必要な物しか買わない消費者が目立つとの声があるなど、買上げ点数は低調に推移している。

諏訪市内にはいくつかの商業施設の出店計画がきかれ、開店となる来春にはさらなる店舗間競争の激化が予想される。

●観光業

長野県観光部のまとめた「平成 20 年夏季（7 月・8 月）の観光動向」によると、諏訪地域の観光客数は上諏訪温泉・諏訪湖が 206 万人で昨年比△6.3%減少、白樺湖が 37 万人で昨年比△2.1%減少となった。また、諏訪大社（上社・下社）の 9 月の参拝客数は、昨年の 70 千人から 41 千人へと△29 千人（△41.4%）減少しており、大河ドラマ「風林火山」の終了による団体客の減少やガソリン高の影響による入り込み客の減少が続いている。

上諏訪温泉の宿泊客数は、ホテル旅館により区々であるものの総体では前年同月比△10%程度減少しており、宿泊客が週末に偏っており平日の集客を課題とするホテル旅館が多い。

蓼科・白樺湖・車山方面は、天候の影響やガソリン高などで、昨年に比べ入り込み客は減少した。

景気の減速を受け、企業の忘年会や新年会の需要低迷を危惧する声がかかる。

●建設業

市町村の 9 月の発注工事は、建築工事 5 件 14 百万円、土木工事・下水道工事 60 件 265 百万円、その他工事 19 件 97 百万円の合計 84 件 378 百万円で、前年同月比では△10 件、△265 百万円（△41.3%）の減少となった。

県関係の 9 月の公共工事（地元業者受注分）は 22 件 552 百万円で、平成 20 年 4 月～平成 20 年 9 月の累計契約は 88 件 2,374 百万円と前年同期累計比では△8 件、△1,679 百万円（△41.4%）減少と平成 18 年 7 月豪雨災害の復旧工事のあった昨年に比べ大幅な減少となっている。

民間工事は、諏訪地方の 8 月の新設住宅着工件数は 113 戸で前年同月比 43 戸（+61.4%）の増加となった。利用関係別では、「持家」71 戸、「貸家」41 戸、「分譲」1 戸で、昨年に比べ「貸家」が増加している。昨年の 6 月に改正建築基準法が施行され 8 月の着工が減少しており、昨年比の着工件数は増加しているものの基調としては低調な推移となっている。

業界内の受注競争が激しく、収益状況が厳しいとの声が多い。

●雇用

諏訪地域の 8 月の有効求人倍率は、1.24 倍と全国（0.86 倍）及び長野県（0.99 倍）を上回っている。長野県全体では、平成 17 年 8 月以来 3 年ぶりに 1 倍を割り込んだ。

また、諏訪地域の 8 月の新規求人（全数）は 1,263 人で前年同月比△92 人（△6.8%）の減少、新規求職者数は 701 人で前年同月比 23 人（+3.4%）の増加となっている。

諏訪地域の有効求人倍率は平成 15 年 10 月以降 1 倍を上回っているものの、昨年 10 月より前年同月比を下回っており、また、8 月の新規求人（全数）では主力の製造業が前年同月比△20.5%の減少となっている。

※平成 20 年 4 月分より諏訪公共職業安定所の公表数値は、諏訪公共職業安定所岡谷出張所（旧岡谷公共職業安定所）を含めた数値となっております。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	携帯電話の新機種生産の鈍化やデジタル家電向け等の減少から弱めの動きとなっている。
コンデンサー	受注は弱含んでおり、コストダウン要請もきかれる。
プリンター	大型プリンターの生産は堅調に推移している。
コンダクター・リレー	受注状況は安定しているものの、材料費の高騰から収益状況は厳しくなっている。

2. 輸送用機械

自動車	大手部品メーカーが生産調整に入っており、下請企業の受注も減少している。小型車向け部品も弱含み始めた。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の受注は、企業により繁閑が区々となっている。
船外機	メーカーの在庫調整から、受注は弱含んでいる。

3. 一般機械

工作機械・専用機	設備投資意欲の減退から受注は減少しており、成約の先延ばしもきかれる。
搬送用機械	ハイテク関連向けの受注残高は増加している。
金型	企業により区々であるが、新規受注は弱含みの状況である。
アルミダイキャスト	製品により区々であるが、自動車向け部品で弱含み感がきかれる。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの8月の生産台数は977万台で、前月比15.2%増加、前年同月比13.9%増加となっている。8月の出荷台数は国内出荷87万台、海外出荷888万台で、出荷台数全体では前月比19.4%増加、前年同月比18.5%増加となっている。(カメラ映像機器工業会：2008年1月分から統計参加企業が増加したことにより、「対比」の定義が厳密ではないため、前月比、前年同月比の数値はあくまで「参考値」とする。) 下請企業の受注は親会社により増減が区々となっているが、クリスマス商戦の不調を危惧するなど見通しは慎重である。
プロジェクター	メーカーの販売状況は堅調であるが、海外生産が中心であり地域企業の受注は減少傾向である。
レンズ	国内の加工業者数が減少しており、新規の見積り依頼が増加している

企業がみられる。

5. 織 維

ニット

秋冬物の生産で繁忙となっており、残暑の影響のあった昨年を上回ったとするところもみられる。

6. 食 品

寒天

スーパー向けの出荷は安定しているが、菓子等の業務用向けが幾分弱含んだ。

味噌

総体の出荷量は例年並みであるが、高価格帯の商品の動きが弱い。

7. 製 材

諏訪地方の8月の木造住宅着工件数は80戸で、改正建築基準法の影響のあった前年同月に比べ28戸増加した。昨年に比べ売上は増加しているが、建築業者向けの与信管理を強化しているところが多い。

8. 建 設

公共工事

9月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所13件、林道治山工事関係5件、その他4件の合計22件、契約金額552百万円となっている。平成20年4月～平成20年9月の累計契約は88件2,374百万円で前年同期累計比では△8件、△1,679百万円（昨年比△41.4%）減少と平成18年7月豪雨災害の復旧工事のあった昨年に比べ大幅な減少となっている。

市町村の9月の発注工事は、建築工事5件14百万円、土木工事・下水道工事60件265百万円、その他工事19件97百万円の合計84件378百万円で、前年同月比では△10件、△265百万円の減少となった。

民間工事

諏訪地方の8月の新設住宅着工件数は113戸で前年同月比では43戸（61.4%）の増加となった。利用関係別では、「持家」71戸、「貸家」41戸、「分譲」1戸で、昨年に比べ「貸家」が増加している。改正建築基準法の影響があった昨年に比べ着工件数は増加しているものの、基調としては低調な推移となっている。受注競争が激しく、収益状況が厳しいとの声が多い。

9. 商業

諏訪地方の9月の天候は、秋雨前線の活動が弱く少雨となり、気温は中旬まで平年より高く推移していたが下旬には寒気の南下により平年より低くなった。

ガソリン価格は9月に入ると幾分低下したものの依然として高値圏で推移しており、食の安全問題やアメリカの金融不安の悪影響もあり消費マインドは低下している。

諏訪市内にはいくつかの商業施設の出店計画が聞かれ、開店となる来春にはさらなる店舗間競争の激化が予想される。

衣料	朝晩の寒さから秋物衣料に動きがみられたとする店舗もあるが、全般的な動きは低調な模様である。
食料品	サンマ等の鮮魚の動きは良く、なべ食材も動き出したものの買上げ点数は引き続き低調である。売り場で商品を吟味し、必要な物しか買わない消費者が目立つとの声がある。
家電製品	運動会にあわせビデオカメラやデジカメは例年同様に動きがみられた。DVDレコーダーの売れ行きが良い。
自動車	諏訪・岡谷を合わせた9月の車庫証明件数（軽自動車除く）は1,195台で前年同月比58台（+5.1%）の増加となった。また、諏訪地方の軽自動車の販売台数は402台で前年同月比△50台（△11.1%）の減少となった。新車販売が低調なことから、車両整備や車検に力を入れる店舗がみられる。
ホームセンター	住居関連では、暖房用品は早めに動いている。

10. 観光

長野県観光部のまとめた「平成20年夏季（7月・8月）の観光動向」によると、諏訪地域の観光客数は上諏訪温泉・諏訪湖が206万人で昨年比△6.3%減少、白樺湖が37万人で昨年比△2.1%減少となった。また、諏訪大社（上社・下社）の9月の参拝客数も、昨年の70千人から41千人へと△29千人（△41.4%）減少しており、大河ドラマ「風林火山」の終了による団体客の減少やガソリン高の影響による入り込み客の減少が続いている。

景気の減速を受け、企業の忘年会や新年会の需要低迷を危惧する声がかかる。

上諏訪温泉	宿泊客数はホテル旅館により区々であるが、団体客数の低下により総体では前年同月比△10%程度減少している。宿泊客が週末に偏っており、平日の集客を課題とするホテル旅館が多い。
蓼科・白樺湖・車山	天候の影響やガソリン高などで、昨年に比べ入り込み客は減少した。
下諏訪温泉	宿泊客数は例年並みの模様である。「万治の石仏」の宣伝効果から、春宮の参拝客は増加している。
諏訪大社	上社・下社合わせた参拝客数は41千人で、NHK大河ドラマ「風林火山」の効果のあった前年同月に比べ29千人の減少となった。